

山際氏起用 萩生田氏が判断

自民のコロナ対策本部長

世界平和統一家庭連合（旧統一教会）との接点を説明できずに事実上更迭された山際大志郎前経済再生相について、自民党の萩生田光一政調会長は8日、自身の判断で、党の新型コロナウイルス対策本部長に就任させたことを明かした。

「コロナ対策で失政があったわけではない。今までの知見を生かして仕事をしてもらおうと、私の判断で指名した」と説明した。

山際氏は閣僚として新型コロナ対応も担っていた。コロナ対策本部は、萩生田政調会長が管轄する政務調

査会の組織。萩生田氏は国会内で記者団に「コロナ担当大臣が党に戻ってきたとき機械的に引き継ぎをしきて役職だ」と語った。

山際氏は10月24日に閣僚

を事実上更迭されてから、わずか4日後の28日付でコロナ対策本部長に就任し

た。辞任直後の役職起用には、野党だけではなく、自民内からも「理解しがたい」「起用が早すぎる」などと批判の声が続出。国会

では党総裁である岸田文雄首相が「（党が）総合的に判断した。人事の理由や内容を私の立場から申し上げ

と言わるが、過去の事例を確認すると、辞任した大臣が党に戻ってきて、党の仕事をするということではない」と強調。「政府との力

ウインターパートとして、今までの人的パイプもあるので、しっかりと仕事をしてもらいたい」と述べた。

(森岡航平)